

# モニターマン MM11 MGMT 電子質量計 取扱説明書

## もくじ

### 製品について

はじめに .....	3
モニターマンにできること .....	4
安全・使用上のご注意 .....	6
梱包内容の確認 .....	11
各部の名称 .....	12

### 使う前の準備

乾電池の入れかた .....	14
乾電池の交換 .....	15
設置について .....	16
本体取付ベルトの取付方法 .....	17
本体の主電源を操作する .....	18
ご使用の流れ .....	18
モードについて .....	19
時間について .....	20
機器設定 .....	21

### 使い方

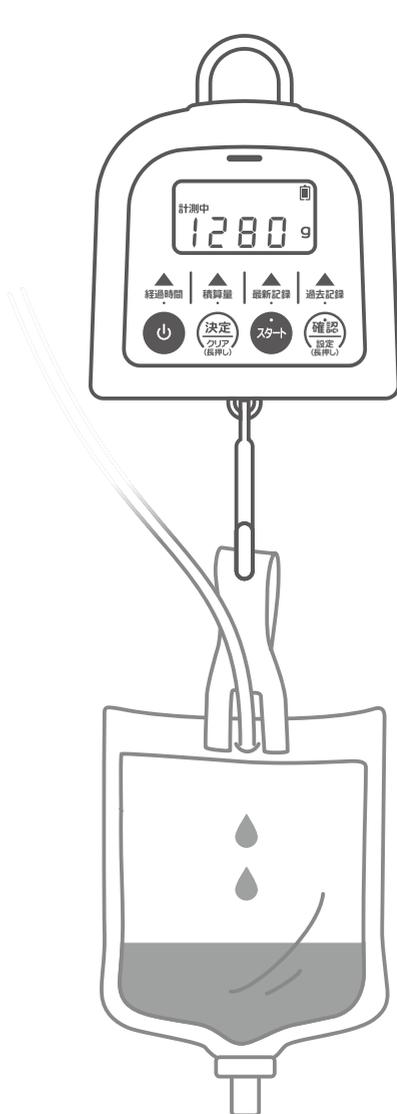
計量モード：計測開始と停止 .....	23
記録モード：警告設定 .....	24
記録モード：計測開始と停止 .....	25
記録モード：警告時 .....	26
記録モード：警告設定の確認・変更 .....	27
記録モード：記録の確認 .....	28
記録モード：バッグ交換、排液排出 .....	29
保管方法、使用期間および耐用年数 .....	30
保守・点検 .....	30
警告について（記録モード） .....	32
記録の表示例（記録モード） .....	34

### 困ったとき

故障かなと思ったら .....	36
-----------------	----

### 仕様など

主な仕様 .....	39
お問い合わせ .....	40



空白ページ

## はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

### 重要なお知らせ

- ・ 本製品をご使用になる場合は、必ず本書に従ってください。
- ・ 本書に記載した使用方法以外の方法で使用しないでください。
- ・ 本書に記載した方法以外のご使用によって、負傷されたり損害を被られた場合は、弊社およびその販売会社に責任はないものとさせていただきます。
- ・ 本書は、必要なときにすぐに取り出せるよう、身近に大切に保管してください。
- ・ 本書に記載されている注意事項にて、本製品のご使用状況のすべてを把握できているわけではございません。
- ・ 本書は株式会社MGMTが著作権を有し、その権利は留保されています。
- ・ 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ・ 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがありますので、最新の取扱説明書をご確認ください。
- ・ 本書に使用している図は、一部を省略、または抽象化しているものがあります。
- ・ 本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
- ・ 製品のデザインおよび仕様は、予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。

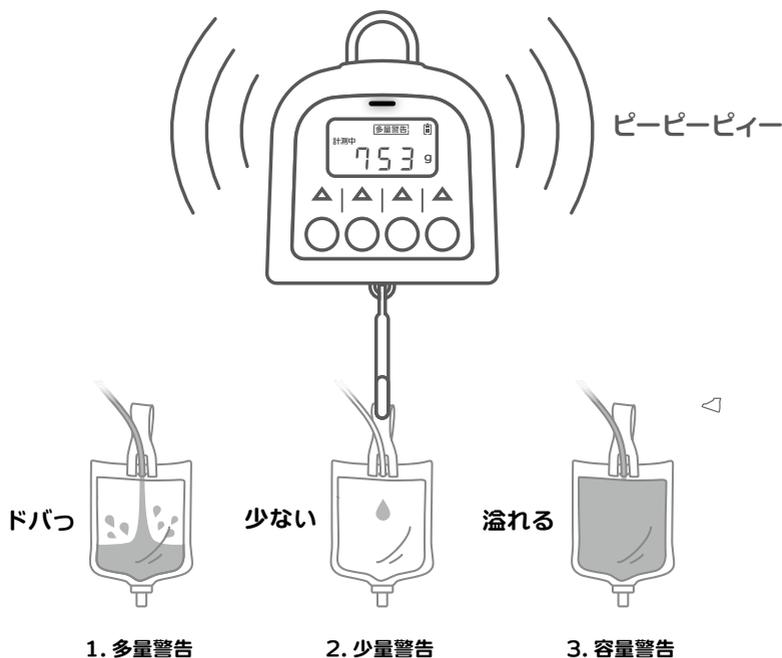
# モニターマンにできること

質量をはかる

容器内の質量をはかります。

警告で知らせる

あっ、排液が!!! を自動検知し、  
知らせてくれます。



## 警告の種類について

1. 多量警告：設定時間内の排液量が設定値を超えた場合の警告
2. 少量警告：設定時間内の排液量が設定値を下回った場合の警告
3. 容量警告：容器内の排液量が設定値を超えた場合の警告

## 記録を確認できる

前回の記録が抜けてる。。。

でも大丈夫

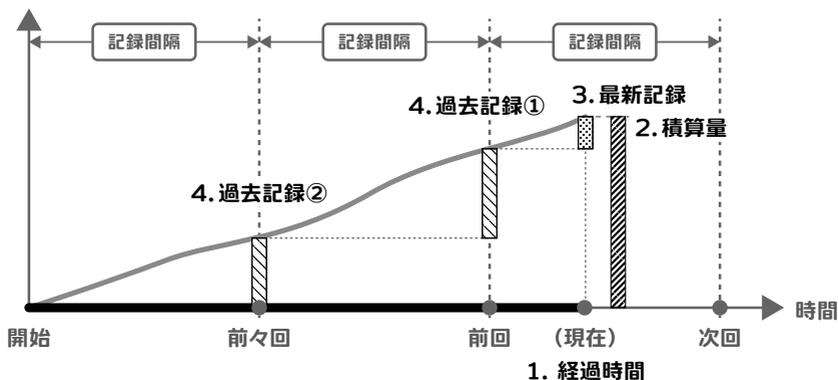
過去の記録も確認できます。



## 記録の種類について

- 1. 経過時間：計測開始からの経過時間
- ▨ 2. 積算量：計測開始からの排液の積算量
- ▤ 3. 最新記録：ボタンを押した時点を含む、最新の記録間隔に計測した排液量（記録間隔は計測前に設定します）
- ▧ 4. 過去記録：過去の記録間隔に計測した排液量（9回分まで記録できます）

排液量



# 安全・使用上のご注意

必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。	 <b>注意</b>	「けがや財産に損害を受けるおそれがある内容」を示しています。
---	----------------------------	---	--------------------------------



中の絵で、してはいけないこと（禁止）を示しています。



中の絵で、しなければならないこと（指示）を示しています。



中の絵で、注意を促す内容を示しています。

■次の注意事項を熟読され、本製品を正しくお使いください。

## 1. 開梱までの輸送、保管に関する注意

### 警告



本製品を落としたり衝撃を与えない。

・本製品が故障したり使用不能になるおそれがあります。



周囲温度 -10 ~ +50℃、湿度 30 ~ 90%RH（結露しないこと）の環境で保管する。

・本製品が故障したり使用不能になるおそれがあります。

## 2. 設置および設置場所に関する注意

 警告**本製品を落としたり、外観など破損した場合は使用しない。**

・本製品を落としたり、外観などが破損した場合は、そのまま使用せずに、弊社にご連絡ください。そのまま使用するとケガや正しく計測できないのおそれがあります。

**不安定な場所で使用しない。**

・不安定な場所で本製品を使用すると、落下による故障やケガをするおそれがあります。

**機器内部に物や水などを入れない。**

・機器内部に物や水などを入れると、故障やケガをするおそれがあります。万一異物が入った場合は、そのまま使用せずに、弊社にご連絡ください。

 注意**本製品を設置する際は、排液バッグが床などに着かない高さに設置すること。**

・排液が溢れたり、正しく計測できなくなる原因になります。

**次のような場所では使用しない。**

・本製品が故障したり正しく計測できなくなる原因になります。

- 屋外や、水のかかるおそれがある場所

- 温度、湿度、直射日光、ほこり、腐食性ガスなどを多く含んだ空気などによる影響のある場所

- 不安定な場所

- 火気のそば

・紫外線により変色する可能性があります。紫外線の影響が少ない場所で使用してください。

**バッグ吊り下げフックを持って運ばない。**

・落下による故障やケガの原因になります。

## 3. 禁忌・禁止事項

 警告**他の目的での使用はしない。**

・本製品は電子質量計です。他の目的での使用はしないでください。

・本製品は物品の売買取引や、公にその計測値を証明する目的には使用しないこと（商取引用ではない）。

## 4. 使用前の注意

 警告

**放射線機器・MRIの管理区域内では使用しない。**

・本製品が故障したり正しく計測できないのおそれがあります。



**本製品の周辺に高周波を発生する機器（携帯電話、無線など）は、できるだけ離れた場所で使用すること。**

・本製品が故障したり正しく計測できないのおそれがあります。

 注意

**乾電池については、以下の点に注意する。**

・ケガの発生や故障の原因になります。

- 乾電池の液が目に入ったら放置しない。すぐに多量の水で洗い流し、医師の指導を受ける
  - 乾電池の⊕⊖極を間違えて入れない
  - 指定外の乾電池を使わない
  - 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わない
  - メーカーや銘柄の異なる乾電池を混ぜて使わない
  - 乾電池を使い切ったときや長期間使用しないとき、乾電池を本体内に入れたままにしない
  - 使用推奨期限の過ぎた乾電池を使わない（付属の電池の保管期間は1年）
- ・正しく計測できなくなる原因になります。
- 計測開始前に電池残量が1目盛でも減っている



**先の尖ったものでボタンを操作しない。**

・故障の原因になります。



**表示部に力を加えない。**

・故障の原因になります。

## 5. 使用中の注意

 注意**排液バックについては、以下の点に注意する。**

- ・ 排液が溢れたり、故障や正しく計測できなくなる原因になります。
  - 排液バッグに触れたり、衝撃を与えない
  - 排液バッグに物が触れていないこと
  - 排液バッグが 4kg を超えていないこと
  - 排液バッグのチューブを無理に引っ張ったり、押し込んだりしない
  - 排液バッグを本製品のバッグ吊り下げフックにセットする際は、排液バッグが確実にフックにセットされていること

**計測中は、本製品を移動させない。**

- ・ 排液が溢れたり、故障や正しく計測できなくなる原因になります。

**ボタンやスイッチに必要以上の力を加えないこと。**

- ・ 故障の原因になります。

## 6. 故障、保守・点検時の注意

 警告**本製品に異常が見られた場合、そのまま使用しない。**

- ・万一、煙が出ていたり変な臭いがする場合、またスイッチ類が操作不能になったときは、そのまま使用すると火災・感電のおそれがあります。直ちに使用を停止し、乾電池を取り外し弊社にご連絡ください。

**弊社の技術者以外による修理や改造に類似する行為や依頼は絶対にしない。**

- ・故障するおそれがあります。絶対にしないでください。
- ・弊社の技術者以外が本体を修理または再調整をして発生した事故および故障に関しては、その責任は一切負いません。

**本製品内部（電池カバー部を除く）を絶対に開けない。**

- ・手を触れたりすると、機器が故障するおそれがありますので絶対に開けないでください。

 注意**清掃・お手入れの際は絶対に水はかけない。**

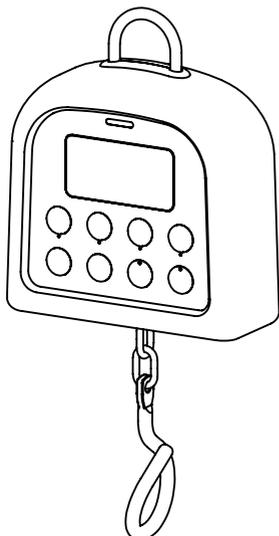
- ・故障の原因になります。

**清掃・手入れの際に、有機溶剤系の薬品や磨き粉、たわしなどは使用しない。**

- ・ベンジンやシンナーなどの有機溶剤系の薬品や、磨き粉やたわしなどを使用すると変色、変形や傷の原因になります。

## 梱包内容の確認

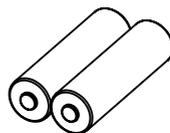
梱包内容を確認してください。万一過不足や不良品、破損などがありましたら、すぐにお買い上げの代理店またはMGMTまでご連絡ください。



本体



本体取付ベルト



単3形アルカリ乾電池 2本



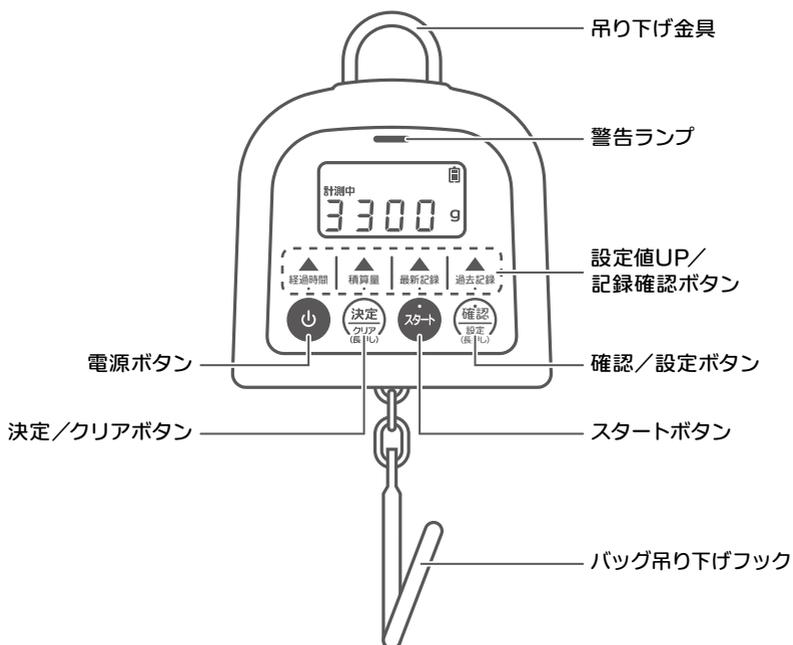
取扱説明書



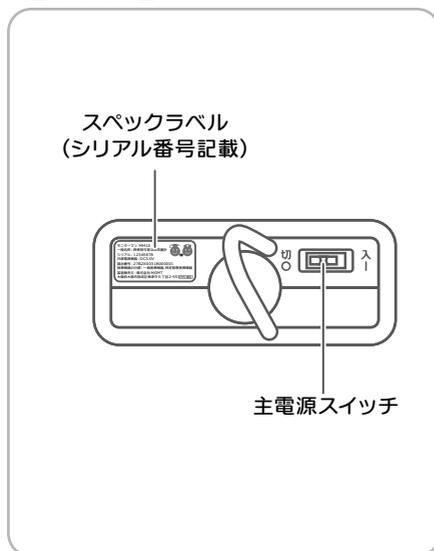
保証書

# 各部の名称

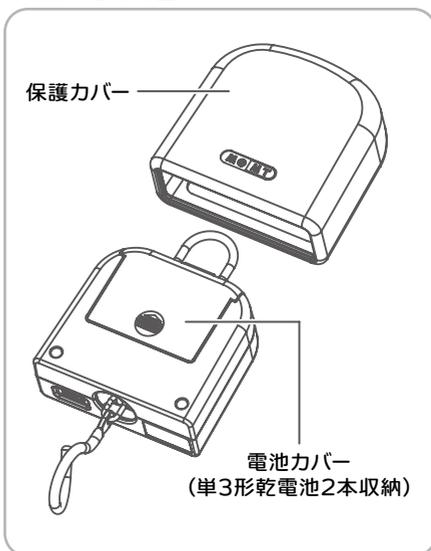
<正面からみた図>



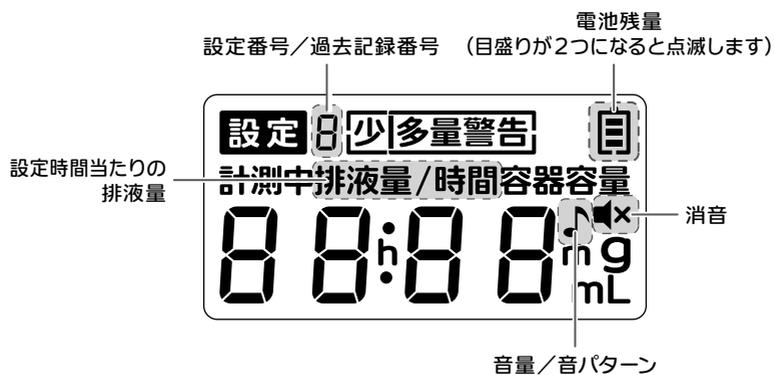
<底からみた図>



<後ろからみた図>



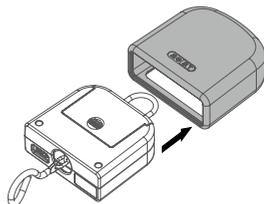
## &lt;表示部&gt;



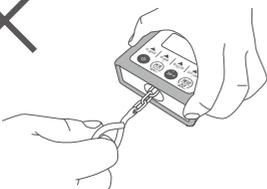
# 乾電池の入れかた

## 本体に乾電池を入れる

保護カバーを取り外す



**⚠** 取り外し方について

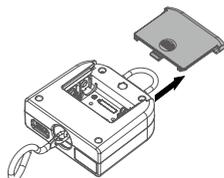


バッグ吊り下げフックを引っ張ると、正常に計測できなくなります。

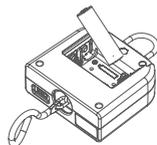


保護カバーを両手で左右に広げるようにしながら、本体を取り出します。

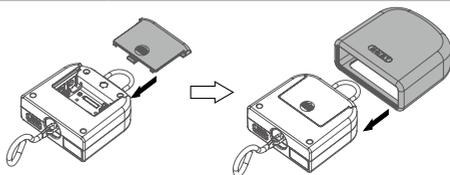
電池カバーを取り外す



⊕極 ⊖極を確認し、単 3 形乾電池を 2 本セットする



電池カバー、保護カバーの順で取り付ける



## 乾電池の交換

### 乾電池交換のタイミング

次のような表示の場合は、速やかに乾電池を交換してください。

- ・「Lo」が表示された場合
- ・計測開始前に電池残量が1目盛でも減っている場合



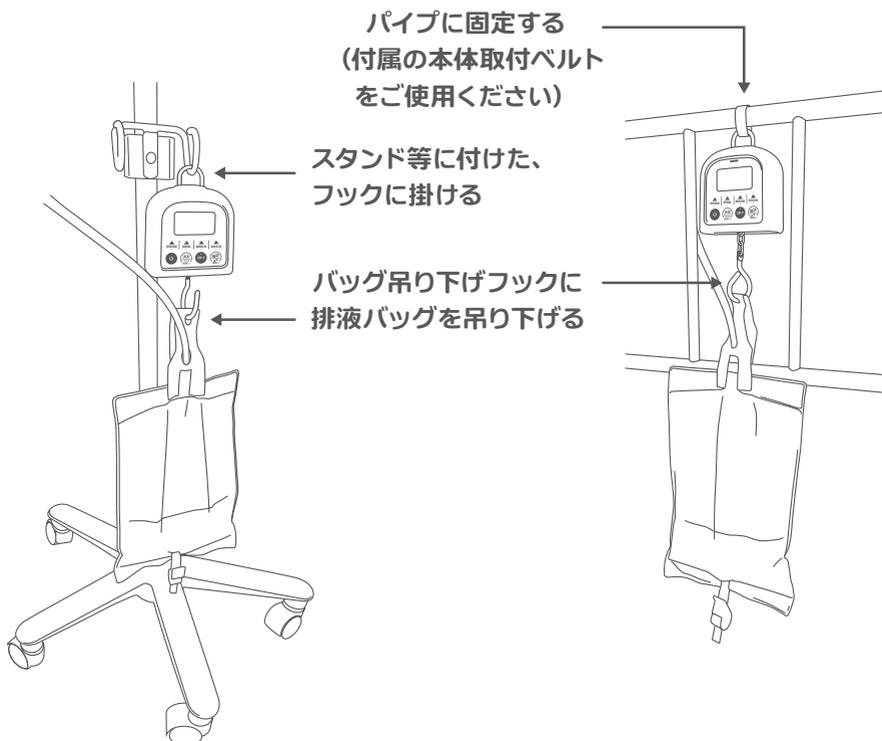
### ⚠ 乾電池について

- ・計測中に乾電池を交換すると、計測データはすべて消えますのでご注意ください。
- ・付属の「お試し用乾電池」は工場出荷時に納められたものですので、寿命が短くなっている場合があります。
- ・乾電池の寿命は約 336 時間（連続使用の場合）です（ご使用条件により異なります）。
- ・使用済み乾電池は、お住まいの市区町村の廃棄方法に従って処理してください。

## 設置について

### パイプやスタンドなどに固定する

<設置例>



※バッグが床に着かないようにする

### ⚠ 注意

- ・ 本製品をパイプなどに固定する場合は、直接吊り下げ金具を引っ掛けるか、十分な強度のバンドを使用してください。
- ・ 本製品をパイプに設置する場合は、本製品が水平になるよう安定した場所にしっかり固定すること。また排液バッグが床に着かない高さに設置すること。

## 本体取付ベルトの取付方法

### パイプに本体取付ベルトで固定する

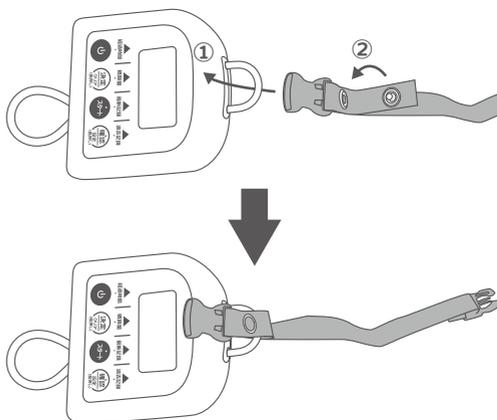
本体取付ベルト（以下ベルト）  
メス側のボタンを外す。

バックル  
メス側

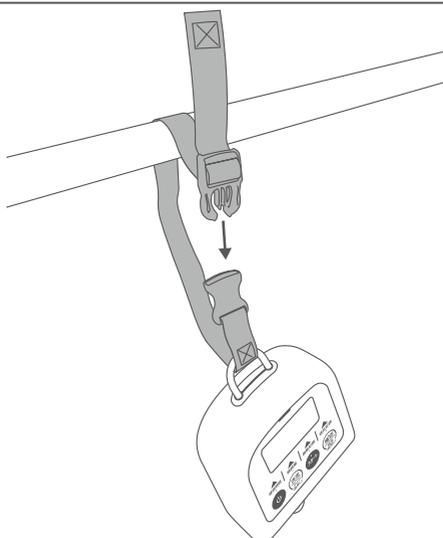
バックル  
オス側



- ① 本体の吊り下げ金具にベルトのメス側を通し、
- ② ボタンを留める。



パイプ等にベルトを通し、バックルオス側をメス側に「カチッ」と音がするまで挿入する。

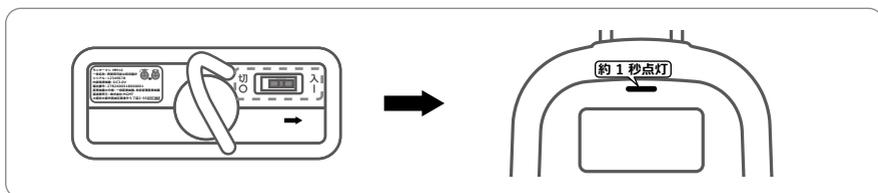


ベルトの取り外しは、バックルのボタンを押すとオス側が飛び出ます。  
本体からベルトを取り外す場合は上記の逆の手順で行なってください。

## 本体の主電源を操作する

### ■主電源を入れる

主電源スイッチを「入 I」側にスライドすると主電源が入り、約 1 秒間警告ランプが点灯したあと、待機モードに移行します（表示部には何も表示していない状態です）。



### ■主電源を切る

主電源スイッチを「切 O」側にスライドすると主電源が切れます。

#### メモ

主電源を切ると、各種警告設定および記録データはすべて消去されます。

## ご使用の流れ

### ■計量モードで使用する

#### 機器設定

計量モードを選択し、単位や容器重量などを設定する。

#### 計測開始

計測を開始する。

### ■記録モードで使用する

#### 機器設定

記録モードを選択し、単位や記録間隔、警告音などを設定する。

#### 警告設定

警告の条件を設定する。

#### 計測開始

計測を開始する。

#### メモ

機器設定は主電源を切っても消去されないため、変更がなければ毎回設定する必要はありません。

# モードについて

モードの種類	
主電源オフ	主電源を切っている状態です（主電源スイッチ：切 O 側）。 ※長時間使用しない場合は、主電源を切ってください。
待機モード	主電源は入っているが、画面表示が消えて何も動作していない状態です（主電源スイッチ：入 I 側）。 ※計測モードおよび機器設定モードで <b>⏻</b> を 1 秒以上長押しすると待機モードに戻ります。
機器設定モード	下記の各種設定を行うモードです。 <計測モード選択、単位、比重、容器重量、記録間隔、バックライト輝度、警告の音量・音パターン> ※主電源を切ってもこれらの設定を記憶しています。
計量モード	シンプルな秤として計量を行うモードです。 あらかじめ容器重量を設定しておけば、容器重量を差し引いた値を表示することもできます。
記録モード	排液量を計測しながら、一定時間毎の排液量を記録したり、排液量に異常が生じた場合は警告で知らせることができるモードです。 途中で排液バッグを交換したり、内容物を捨てたりしても、継続して記録でき、開始時からの積算量も確認できます。

## ■ 機器設定モードへ

待機モード

機器設定モード



待機モードで **⏻** を 2 秒以上長押しすると機器設定モードに移行します。

## ■ 計量モードまたは記録モードへ

待機モード

計量モードまたは記録モード



待機モードで **⏻** を押しすると計量モードまたは記録モードに移行します。ご使用になるモードは、あらかじめ機器設定モードで設定しています。計量モードの場合は「SCL」、記録モードの場合は「rEC」が約 1 秒間表示されます。

## ■各モードから待機モードへ

各モード

待機モード



計量モード、記録モードおよび機器設定モードで **電源** を 1 秒以上長押しすると待機モードに戻ります。

※各種警告設定および計測データはすべて消去されます。

## 時間について

### 時間の種類

記録間隔の時間	計測開始から設定した記録間隔ごとの排液量を記録するための時間です。 確認ボタンで確認画面を表示している間も時間は停止せず動き続けます。 ※確認画面で経過時間を表示すると、確認ボタンを押した時点の時間を表示しますが、機器内部ではその間も時間が進んでいます。
多量警告の時間	ある監視時間内に設定した排液量が超えた場合、警告をだします。この監視時間を多量警告の時間といいます。 計測開始後、設定時間に到達した時点で警告条件を満たしていなければ、引き続き最初から監視します。 なお、確認ボタンで確認画面を表示している間、時間は停止します。次にスタートボタンを押した時点で、時間はリセットされ、最初から監視します。
少量警告の時間	ある監視時間内に設定した排液量に満たなかった場合、警告をだします。この監視時間を少量警告の時間といいます。 計測開始後、設定時間に到達した時点で警告条件を満たしていなければ、引き続き最初から監視します。 なお、確認ボタンで確認画面を表示している間、時間は停止します。次にスタートボタンを押した時点で、時間はリセットされ、最初から監視します。

# 機器設定

## 計量モードを使用する場合の設定

1. 機器設定モードへ  
待機モードで **ON** を 2 秒以上長押しすると、機器設定モードに移行します。

---

2. 計量モードを選択  
**設定 1**  
▲**過去記録** で「SCL」を選択します。**決定 (2/2P)** を押すと設定内容が保存され、単位設定に移行します。

---

3. 単位設定  
**設定 1**  
▲**過去記録** で「g」または「mL」を選択します。**決定 (2/2P)** を押すと設定内容が保存され、次の設定に移行します。  
※「g」を選択→容器重量設定に移行  
「mL」を選択→比重設定に移行

---

4. 比重設定  
**設定 2**  
▲**最新記録** と ▲**過去記録** で比重を 1000 ~ 1099 (g / mL) の範囲で設定します。**決定 (2/2P)** を押すと設定内容が保存され、容器重量設定に移行します。

---

5. 容器重量設定  
**設定 3**  
容器重量は①②のいずれかの方法で設定します。  
①容器重量を数値で設定する  
▲**精算値**、▲**最新記録**、▲**過去記録** で容器重量を 0 ~ 999 (g) の範囲で設定します。**決定 (2/2P)** を押すと設定内容が保存され、輝度設定に移行します。  
②空の容器を吊り下げて重量を記憶する  
本体をフック等につけ、何も吊り下げずに静かに **ON** を押します。「----」から「0g」に表示が変わったら、空の容器を吊り下げ、数値が安定するまで待ちます。  
数値が安定した状態で **確認 (2/2P)** を押すと重量が確定します。  
**決定 (2/2P)** を押すと設定内容が保存され、輝度設定に移行します。

---

6. 輝度設定  
**設定 5**  
▲**過去記録** で輝度を 1 (暗) ~ 5 (明) の範囲で設定します。  
**決定 (2/2P)** を押すと設定内容が保存され、機器設定モード終了に移行します。

---

7. 機器設定モード終了  
**設定**  
「End」が表示されます。  
**ON** を 1 秒以上長押しすると、待機モードに戻ります。  
もう一度設定・確認する場合は、**決定 (2/2P)** を押すとモード選択に戻ります。

## 記録モードを使用する場合の設定

1. 機器設定モードへ 待機モードで  を 2 秒以上長押しすると、機器設定モードに移行します。
2. 記録モードを選択 **設定**  で「rEC」を選択します。 を押すと設定内容が保存され、単位設定に移行します。
3. 単位設定 **設定**  で「g」または「mL」を選択します。 を押すと設定内容が保存され、次の設定に移行します。  
※「g」を選択→記録間隔設定に移行  
「mL」を選択→比重設定に移行
4. 比重設定 **設定**  と  で比重を 1000 ~ 1099 (g / mL) の範囲で設定します。 を押すと設定内容が保存され、記録間隔設定に移行します。
5. 記録間隔設定 **設定** 、、 で記録間隔を 0 : 01 ~ 9 : 59 (時 : 分) の範囲で設定します。 を押すと設定内容が保存され、輝度設定に移行します。  
※記録間隔とは、間隔 (時間) ごとの排液量の記録に使用します。P.5 参照
6. 輝度設定 **設定**  で輝度を 1 (暗) ~ 5 (明) の範囲で設定します。 を押すと設定内容が保存され、音量設定に移行します。
7. 音量設定 **設定**  で警告時の音量を 0 (消音) ~ 3 (大) の範囲で設定します。 を押すと設定内容が保存され、音パターン設定に移行します。
8. 音パターン設定 **設定**  で警告時の音パターンを A ~ G の範囲で設定します。 を押すと設定内容が保存され、機器設定モード終了に移行します。
9. 機器設定モード終了「End」が表示されます。**設定**  を 1 秒以上長押しすると、待機モードに戻ります。  
もう一度設定・確認する場合は、 を押すとモード選択に戻ります。

# 計量モード：計測開始と停止

## 計測を開始する

### 計量モードへ

待機モードで **電源** を押し「SCL」を表示後、計量モードに移行します。

### 計測準備



本製品を点滴スタンド等に取り付け、バッグ吊り下げフックには何も吊り下げないようにします。

緑色ランプが点灯している状態で **準備** を押し、ゼロ点補正を行ないます。

※本製品は揺らさないでください。

### ゼロ点補正



ゼロ点補正中は約 4 秒間、「計測中」が点滅し、数値は「----」で点滅します。

※本製品は揺らさないでください。

### 計測開始



「----」から数値表示になると、ゼロ点補正が終了し、計測ができる状態になります。

排液の入ったバッグを本製品に吊り下げると、あらかじめ設定した容器重量を差し引いた排液量を表示します。

### 容器重量補正の切替



計測中に **準備** を押し「容器」の表示が消え、容器重量を差し引かない排液量表示に切り替わります。

もう一度 **準備** を押し元の表示に戻ります。

## メモ

ゼロ点補正とは、計測開始時点の重さを「0g (mL)」に補正することをいいます。

## 計測を停止する

### 計測停止



計測を停止・中止する場合は、**電源** を 1 秒以上長押しすると、待機モードに戻ります。

# 記録モード：警告設定

## 多量警告・少量警告・容器容量警告の設定

記録モードへ 待機モードで  を押すと「rEC」を表示後、記録モードに移行します。

### 多量警告の設定

#### 排液量設定

##### 設定 1

**多量警告**と「排液量」が点滅します。

経過時間、秤算量、最新記録、過去記録で排液量を設定し、を押すと設定内容が保存され、時間設定に移行します。

最大 3999g (mL) まで設定できます。

※多量警告を使用しない場合は「0000」でを押してください（その場合、少量警告の排液量設定に移行します）。

#### 時間設定

##### 設定 2

**多量警告**と「時間」が点滅します。

秤算量、最新記録、過去記録で時間を設定し、を押すと設定内容が保存され、少量警告の排液量設定に移行します。

最大 9 : 59 (時 : 分) まで設定できます。

### 少量警告の設定

#### 排液量設定

##### 設定 3

**少量警告**と「排液量」が点滅します。

経過時間、秤算量、最新記録、過去記録で排液量を設定し、を押すと設定内容が保存され、時間設定に移行します。

最大 3999g (mL) まで設定できます。

※少量警告を使用しない場合は「0000」でを押してください（その場合、容器容量設定に移行します）。

#### 時間設定

##### 設定 4

**少量警告**と「時間」が点滅します。

秤算量、最新記録、過去記録で時間を設定し、を押すと設定内容が保存され、容器容量設定に移行します。

最大 9 : 59 (時 : 分) まで設定できます。

### 容量警告の設定

#### 容器容量設定

##### 設定 5

**容器容量**が点滅します。

経過時間、秤算量、最新記録、過去記録で容器容量を設定し、を押すと設定内容が保存され、計測スタートに移行します。

最大 3999g (mL) まで設定できます。

※容量警告を使用しない場合は「0000」でを押してください。

# 記録モード：計測開始と停止

## 計測を開始する

### 計測準備



本製品や排液バッグが正しく取り付けられていることを確認してください。

緑色ランプが点灯している状態で **決定** を押し、ゼロ点補正を行ないます。  
※本製品や排液バッグは揺らさないでください。

### ゼロ点補正



ゼロ点補正中は約 5 秒間、「計測中」が点滅し、数値は「----」で点滅します。

※本製品や排液バッグは揺らさないでください。

### 計測開始



数値が「0g (mL)」になると、ゼロ点補正が終了し、計測を開始します。

計測中は表示部の「計測中」が点滅しています。

## メモ

ゼロ点補正とは、計測開始時点の重さを「0g (mL)」に補正することをいいます。

## 計測を停止する

### 計測停止



計測を停止・中止する場合は、**電源** を 1 秒以上長押しすると、待機モードに戻ります。なお、記録データは消去されます。

# 記録モード：警告時

## 警告時の操作

### 警告発生



警告が発生した場合は、警告ランプが点滅し、警告音になります。また、**(確認ランプ)**の橙色ランプが点灯し、表示部に警告の内容が点滅表示されます。

多量警告：**多量警告**が点滅

少量警告：**少量警告**が点滅

容量警告：**警告**と「容量」が点滅

※音量設定が「0」の場合、警告音はなりません。

### 警告停止



**(確認ランプ)**を押すと、警告ランプが消灯し、警告音は停止します。また、**(確認ランプ)**のランプは消灯し、**(スタート)**のランプが点灯します。

警告内容の点滅表示は継続します。

### 計測再開



警告の原因が解消されたことを確認のうえ、**(スタート)**を押してください。

警告の内容は点滅表示が消え、計測を再開します。

# 記録モード：警告設定の確認・変更

## 計測中に警告設定の確認・変更ができます

警告設定画面  
に移行



計測中または確認画面で $\text{確認}$ を1秒以上長押しすると多量警告の排液量設定画面に移行します。(P.24 で計測スタート前に設定した数値が表示されます)

確認・変更



$\text{確認}$ を押すたびに、各設定内容が表示されます。容量警告で $\text{確認}$ を押すと、 $\text{スタート}$ のランプが点灯します。

設定内容を変更する場合は、「警告設定」と同じ手順で設定してください。

計測再開



$\text{スタート}$ を押すと、「計測中」が点滅表示され、計測を再開します。

# 記録モード：記録の確認

## 計測中に記録の確認ができます

確認画面に  
移行



計測中に(確認)を押すと「計測中」表示が消え、(スタート)のランプが点灯し、確認画面に移行します(ボタンを押した時点の値を表示していますが、計測は継続しています)。

経過時間の  
確認



▲を押すと、計測開始からの経過時間が表示されます。また、(確認) (橙色) と ▲経過時間 (青色) のランプが点灯します。

積算量の確認



▲を押すと、計測開始からの排泄の積算量が表示されます。また、(確認) (橙色) と ▲積算量 (青色) のランプが点灯します。

最新記録の  
確認



▲を押すと、ボタンを押した時点を含む、最新の記録間隔に計測した排泄量が表示されます。また、(確認) (橙色) と ▲最新記録 (青色) のランプが点灯します(記録間隔は、機器設定で行います。P.5)。

過去記録の  
確認



▲を押すと、最新記録の一つ前の記録間隔に計測した排泄量が表示されます。また、(確認) (橙色) と ▲過去記録 (青色) のランプが点灯します。

▲を押すたびに、最大過去9回分までの記録を確認することができます(過去記録がない場合は「----」が表示されます)。

計測値の表示  
に戻す



(確認)を押すと、確認画面に移行した直後の計測値の表示に戻ります(ボタンを押した時点の値を表示していますが、計測は継続しています)。

計測再開



●を押すと「計測中」が点滅表示され、計測を再開します。

## 記録モード：バッグ交換、排液排出

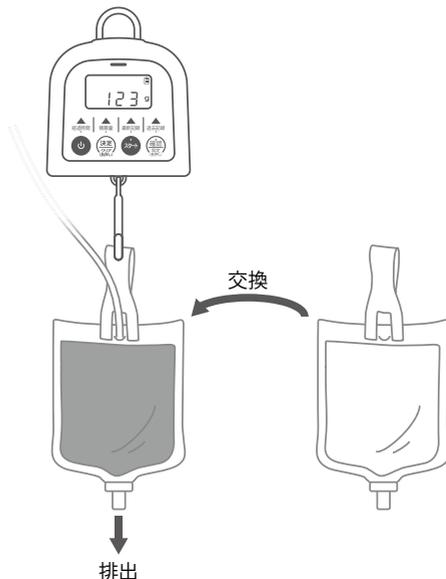
バッグの交換や排液の排出後も継続して計測できます

記録確認画面  
に移行



計測中に(記録確認)を押すと「計測中」表示が消え、スタートのランプが点灯し、記録確認画面に移行します(ボタンを押した時点の値を表示しています)。

排液バッグを交換または  
排液を排出する



バッグ交換または排液排出後の操作

表示値をクリアする



(決定)を1秒以上長押しすると、「0g (mL)」が表示され、スタートのランプが点灯します。

計測再開



スタートを押すとゼロ点補正を行ない、計測を再開します。

※現在の表示値はクリアされますが、確認画面の記録はクリアせず継続されます。

※本製品や排液バッグが正しく取り付けられていることを確認してください。

※本製品や排液バッグは揺らさないでください。

# 保管方法、使用期間および耐用年数

## 保管方法

使用しないときは、主電源スイッチを切ること。

日光や紫外線等の強い光があたる場所、湿気が多い場所、ほこりが多い場所、腐食性のガスの発生する場所に保管しないこと。

長期間使用しない場合、乾電池を取り外して保管すること。そのまま放置すると、液漏れに至る可能性がある。

## 使用期間

連続使用時間	約 336 時間（新品のアルカリ乾電池）
--------	----------------------

## 耐用期間

耐用期間の目安	5 年（耐用期間を経過した場合は、業者による点検を行うこと）
---------	--------------------------------

# 保守・点検

## 使用者による日常の保守・点検事項

本体の汚れは、乾いたやわらかい布で拭き取ること。汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませた布で汚れを落とした後、洗剤をよく拭き取ること。シンナーやベンジンなどを使用しないこと。

本体は防水構造ではないので内部に水が入らないように注意すること。

直射日光および高温低温多湿を避けて保管すること。

消毒する場合は、消毒用エタノールを含ませたガーゼなどで軽く拭くこと。ただし、長時間エタノールに浸漬したり、熱湯で消毒しないこと。

本体に破損がないか確認すること。

液晶表示に欠けなどの異常がないか確認すること。

警告ランプ、警告音が正しく動作すること。

## 業者による保守・点検事項

1年に1度を目安に、保守・点検を行うこと。

- ・排液量が正しく表示すること。
- ・警告ランプ、警告音が正しく動作すること。

## 廃棄時のお願い

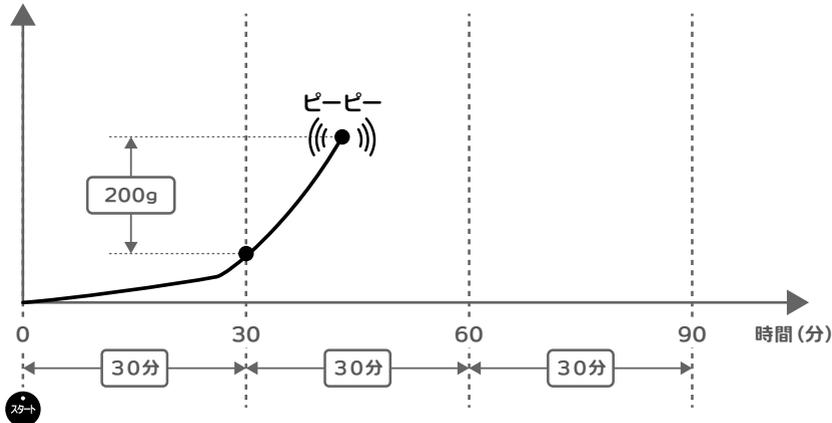
本製品および乾電池を破棄する場合は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。

## 警告について（記録モード）

### 多量警告

排液量の設定: 、時間の設定: の場合

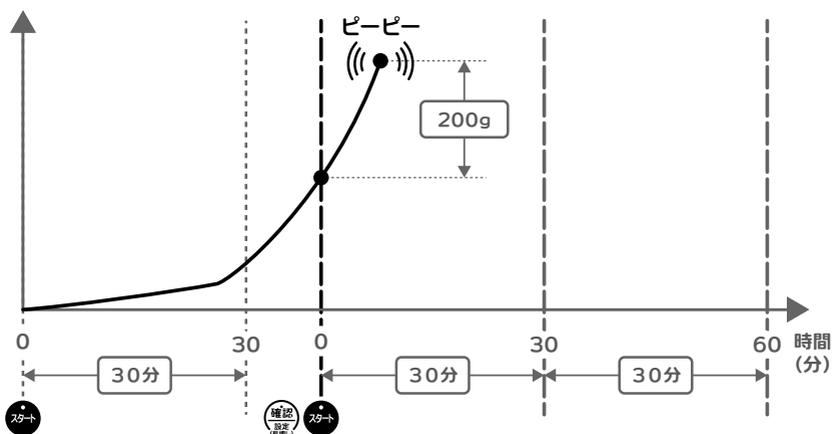
排液量 (g)



### 多量警告（確認ボタンを押した場合）

を押して記録確認画面に移行した場合、多量警告機能は停止します。を押して計測を再開すると多量警告機能が再始動します。このとき、多量警告用の時間は0分からの開始になります。

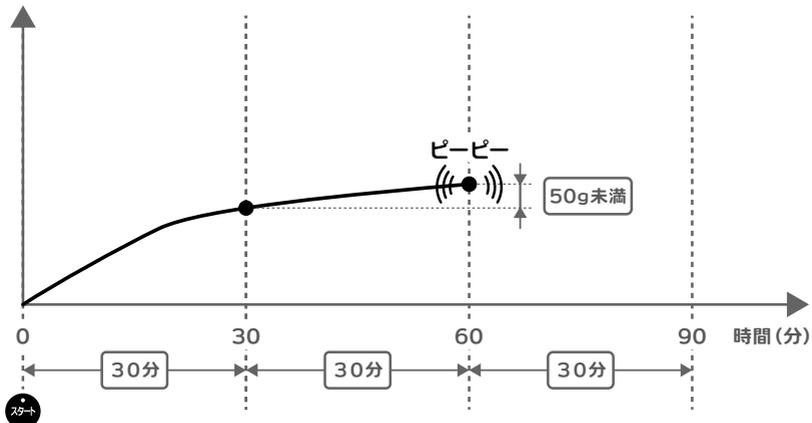
※記録間隔で設定した時間は停止せず続きます。



## 少量警告

排水量の設定: 、時間の設定:  の場合

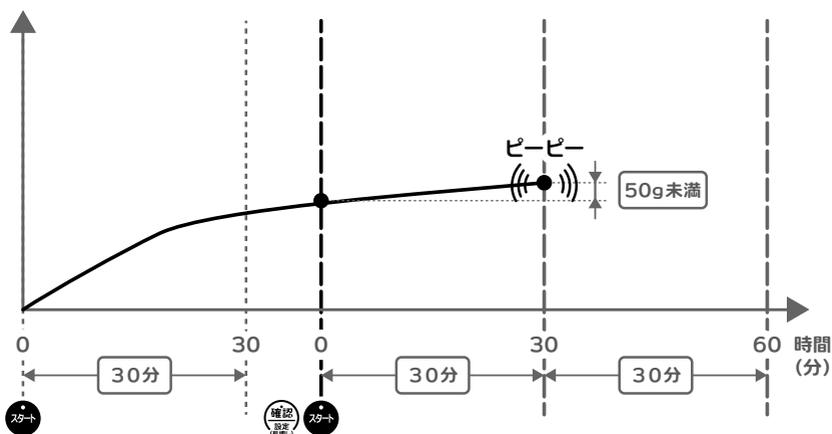
排水量 (g)



## 少量警告 (確認ボタンを押した場合)

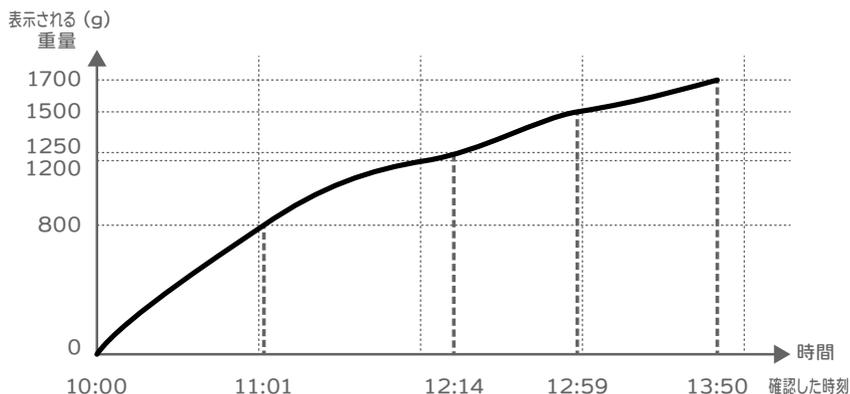
を押して記録確認画面に移行した場合、少量警告機能は停止します。 を押して計測を再開すると少量警告機能が再始動します。このとき、少量警告用の時間は0分からの開始になります。

※記録間隔で設定した時間は停止せず継続します。



## 記録の表示例（記録モード）

計測開始が 10 時、記録間隔が 1 時間の場合。



現在の表示

計測値 802 g      計測値 1250 g      計測値 1499 g      計測値 1700 g

▲  
経過時間  
を押す

経過時間 1:01 m      経過時間 2:14 m      経過時間 2:59 m      経過時間 3:50 m

▲  
積算量  
を押す

積算量 802 g      積算量 1250 g      積算量 1499 g      積算量 1700 g

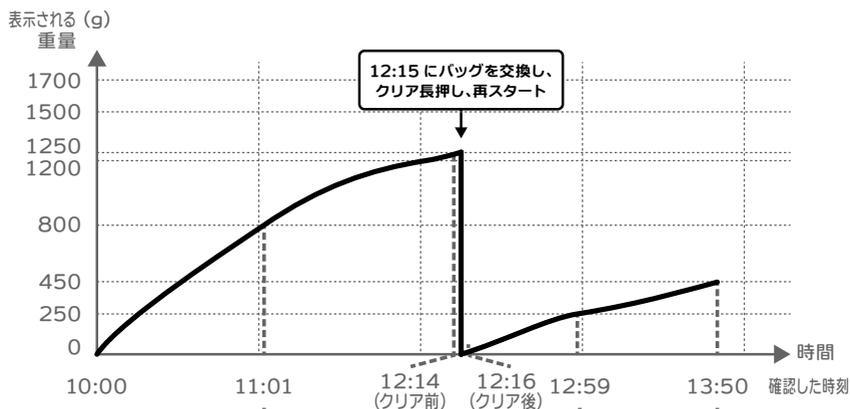
▲  
最新記録  
を押す

最新記録 2 g      最新記録 50 g      最新記録 299 g      最新記録 200 g

▲  
過去記録  
を押す

過去記録 800 g      過去記録 400 g      過去記録 400 g      過去記録 300 g

バッグの交換や、排液の排出を行った場合



現在の表示

計測中 802 g	計測中 1250 g	計測中 1 g	計測中 250 g	計測中 450 g
--------------	---------------	------------	--------------	--------------

▲  
経過時間  
を押す

経過時間 1:01 <sup>m</sup>	経過時間 2:14 <sup>m</sup>	経過時間 2:16 <sup>m</sup>	経過時間 2:59 <sup>m</sup>	経過時間 3:50 <sup>m</sup>
---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------

▲  
積算量  
を押す

積算量 802 g	積算量 1250 g	積算量 1251 g	積算量 1501 g	積算量 1700 g
--------------	---------------	---------------	---------------	---------------

▲  
最新記録  
を押す

最新記録 2 g	最新記録 50 g	最新記録 51 g	最新記録 300 g	最新記録 200 g
-------------	--------------	--------------	---------------	---------------

▲  
過去記録  
を押す

過去記録 800 g	過去記録 400 g	過去記録 400 g	過去記録 400 g	過去記録 300 g
---------------	---------------	---------------	---------------	---------------

## 故障かなと思ったら

電池残量		
こんなとき	原因	対処の方法
電源ボタンを押しても起動しない	主電源スイッチがOFF(切 O 側)になっている	本体下部の主電源スイッチをON(入 I 側)にしてください。
	乾電池が入っていない	乾電池を入れてください。
	乾電池の極性が間違っている	乾電池を正しい極性で入れてください。
	電池残量がない	新しい乾電池(2本すべて)と交換してください。
【計測開始前】 電池残量が1目盛り減って点滅している	電池残量が少なくなっている	新しい乾電池(2本すべて)と交換してください。
【計測開始前】 電池残量が2または3目盛り減って点滅し、“Lo”が表示されている	電池残量が少なくなっている	新しい乾電池(2本すべて)と交換してください(交換しないと計測を開始できません)。
【計測中】 電池残量が1～3目盛り減って点滅している	電池残量が少なくなっている	速やかに計測を終了し、新しい乾電池(2本すべて)と交換してください(交換時は計測データが消えますので、区切りのよいところで交換されることをおすすめします)。
【計測中】 電池残量が3目盛り減って点滅し、“Lo”が表示され、さらに警告音が鳴っている	電池残量がなくなった(計測開始後)	電源ボタンまたは主電源スイッチでOFFして警告音を止め、新しい乾電池(2本すべて)と交換してください(この状態になると、計測データはすべて消去されてしまいます。早めの乾電池交換をおすすめします)。

## 計測データ

こんなとき	原因	対処の方法
計測値が実際の排液量と合わない	排液バッグが床などに接触している	排液バッグの本体部分が床などに接触しないようにしてください（特にバッグ下面の接触は計測値に大きく影響します）。
	排液バッグが揺れている	排液バッグの揺れ方によっては、計測値に影響することがあります。なるべく揺らさないようにしてください（若干の揺れについては計測処理で吸収できます）。
	排液バッグのゼロ点補正がずれている	計測開始時または排液バッグ交換時のゼロ点補正をなるべく揺らさないように行ってください。
	校正値がずれている	重さがわかっているものを使って計測し、計測値が最大許容誤差を超えていれば、製造販売業者までお問い合わせください。
排液バッグ交換後の積算量がおかしい	排液バッグ交換時のクリア操作をしていない	排液バッグ交換時は必ずクリア操作をしてください。
記録間隔の時間が経過しているのに過去記録に反映されていない	記録間隔の時間が経過する前に確認ボタンを押して記録確認に移行した	記録確認に移行中は計測値の更新を行わず、記録確認に移行する直前の値と経過時間を表示します。
	記録間隔の設定が変更されている	機器設定モードにて記録間隔の設定をやりなおしてください。

## その他

こんなとき	原因	対処の方法
表示が見にくい	液晶画面の特性による	本製品は目線よりも下の位置で使用する用途であるため、液晶画面は真正面よりも少し上側から見た方がよく見える特性になっています。
	輝度の設定が変更されている	機器設定モードにて輝度の設定をやりなおしてください。
警告時の音量が小さい (または鳴らない)	音量の設定が変更されている	機器設定モードにて音量の設定をやりなおしてください。
ボタン操作ができない	現在のモードで操作が有効なボタンではない	各操作説明を確認してください。
	機器異常	お問い合わせ先までご連絡ください。
“E01” が表示されている	機器異常	お問い合わせ先までご連絡ください。

# 主な仕様

品目仕様等	
販売名	モニターマン
形式	MM11
品名	電子質量計
計測範囲	0～4000g 0～4000mL（比重換算）
重量表示	数字4桁 + g 表示、表示単位 1g
容量表示	数字4桁 + mL 表示、表示単位 1mL
警告機能	警告音、警告ランプ
警告種類	尿または排液の重量が設定値を超えたとき、一定時間の尿量または排液量が設定値を超えたとき、あるいは下回ったとき
記録機能	記録間隔ごとの排液量を過去9回分まで確認可能
表示	LCD（黒文字、グレー背景）、白色バックライト
使用温度範囲	0～40℃
保存温度範囲	-10～+50℃
使用湿度範囲	30～90% RH（結露しないこと）
最大許容誤差	± 5g（25℃にて、2000gを超える場合は± 10g）
周囲温度の影響	± 1g /℃
データ表示	500ミリ秒ごとにデータを取得し直近の16回の平均値を表示
外形寸法	約 95mm（幅）× 193mm（長さ）× 39mm（厚さ）
質量	約 310g（乾電池含める）
EMC 適合	IEC 60601-1-2 Ed3：2007 に適合

電氣的定格	
電源	単3形アルカリ乾電池 2個
電圧	DC3.0V
連続使用時間	約 336 時間（新品のアルカリ乾電池）

# お問い合わせ

## お問い合わせ先

株式会社 MGMT

〒 557-0063 大阪府大阪市西成区南津守 5-2-55

TEL 06-6659-0140

FAX 06-6485-4606